

令和7年度 生涯学習・社会教育関係職員パワーアップセミナー実施報告（HP用）

1. 日時及び会場（庄内会場）令和7年5月15日（木） 10:00～16:30
庄内総合支庁（東田川郡三川町大字横山字袖東19-1）4F 講堂
（村山会場）令和7年5月16日（金） 10:00～16:30
遊学館（山形市緑町1丁目2-36） 第一研修室
2. 対象 市町村生涯学習・社会教育関係職員（公民館職員・コミュニティセンター等職員を含む）のうち、経験年数1年未満の初任者と、2年目以上の職員で過去に受講できなかった者。
3. 講師等 安藤 耕己 氏（山形大学地域教育文化学部 教授）
皆川 雅仁 氏（秋田大学非常勤講師、秋田県生涯学習センター学習相談員）
菅谷内 敦 氏（山形県教育局 教育政策課 企画調整専門員）
木村 征子 氏（山形県教育局 生涯教育・学習振興課 課長補佐（兼）室長補佐）
小野 大輔 氏（山形県教育局 生涯教育・学習振興課主査）
今田 博行 氏（最上教育事務所 社会教育課 社会教育主事）※庄内会場
櫻井 孝輔 氏（庄内教育事務所 社会教育課 社会教育主事）※庄内会場
黒沼 里美 氏（村山教育事務所 社会教育課 社会教育主事）※村山会場
岩井 達也 氏（置賜教育事務所 社会教育課 社会教育主事）※村山会場
4. 申込者数：96名、出席者数：96名（村山64名、庄内32名）出席率：100%

5. 内容及び日程

時 間	内 容
9:30～9:55	受付
10:00～10:05	開講式 ◆挨拶 （庄内）木村 征子 氏（山形県教育局生涯教育・学習振興課長補佐（兼）室長補佐） （村山）飯野 典朗 氏（山形県教育局生涯教育・学習振興課長（兼）郷土愛育成室長）
10:05～11:25	◆講義①「生涯学習・社会教育とは～生涯学習・社会教育関係職員に求められる役割」 講師：安藤 耕己 氏（山形大学地域教育文化学部 教授）
11:25～12:35	昼食休憩
12:35～13:20	◆講話：第7次山形県教育振興計画について 講師：菅谷内 敦 氏（山形県教育局 教育政策課 企画調整専門員） ◆講話：令和7年度 県生涯学習・社会教育行政施策概要 講師：（庄内）木村 征子 氏（山形県教育局 生涯教育・学習振興課 課長補佐） （村山）小野 大輔 氏（山形県教育局 生涯教育・学習振興課 社会教育主査） ◆事例提供：令和6年度「郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業」について 概要説明：小野 大輔 氏（山形県教育局 生涯教育・学習振興課 社会教育主査） 発表者：（庄内）今田 博之 氏（最上教育事務所社会教育課 社会教育主事） 櫻井 孝輔 氏（庄内教育事務所社会教育課 社会教育主事） （村山）黒沼 里美 氏（村山教育事務所社会教育課 社会教育主事） 岩井 達也 氏（置賜教育事務所社会教育課 社会教育主事）
13:20～13:25	休憩
13:25～16:15	◆講義②&演習 「社会教育のマネジメントはこうありたい ～LRDCマネジメントサイクルと「熟議」の活用～」 講師：皆川 雅仁 氏（秋田大学 非常勤講師・秋田県生涯学習センター 学習相談員）
16:15～16:30	諸連絡・アンケート記入
16:30	終了

●当日の様子●

今年度も庄内・村山の2会場で開催しました。

◆講義①「生涯学習・社会教育とは～生涯学習・社会教育関係職員に求められる役割」

「社会教育」「生涯教育」という概念を、歴史や各種法令を紐解きつつ講義いただき、社会教育の意義や、社会教育関係職員の立ち位置について理解を深めることができました。

参加者 voices



- ・社会教育をはじめとした生涯学習という業務に初めて携わるため、言葉の意味・背景から教えていただき、ありがたかったです。
- ・生涯学習の基本的な構造を理解するよい助けになりました
- ・社会教育課にいながら“社会教育”とは？ ということ深く考えずに働いておりました。本日の講義を聴いて、社会教育や生涯教育の体系を理解できました。仕事のやりがいupにつながりそうで大変満足です。
- ・社会教育とは何か？ と聞かれる場面があったのだが、答えることができなかった。このセミナーでイメージを持つことができ、自分のやるべきことを考えるきっかけにできて、大変有意義な時間でした。

◆講話：第7次山形県教育振興計画について

今年度から発動された「第7次山形県教育振興計画」について、菅谷内敦専門員（山形県教育局教育政策課）により概要説明がありました。

◆講話：令和7年度 県生涯学習・社会教育行政施策概要

山形県教育局生涯教育・学習振興課木村征子課長補佐（庄内会場）、小野大輔社会教育主査（村山会場）より、今年度の山形県の社会教育・生涯学習行政施策概要についての説明がありました。

◆事例提供：令和6年度「郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業」について

事業の概要説明の後、庄内会場では庄内と最上の、村山会場では村山と置賜の事例提供が行われました。その後、令和6年度の事業まとめが発表されました。

参加者 voices

- ・県で策定されている計画や内容について説明してもらい、理解が深まりました。
- ・県全体の方向性であったり、他の地方での事例について学んだことで、自分が今やっている仕事についてもどんなものか考えるきっかけになると感じました。
- ・小学生と中学生を巻き込んだ体験プログラムについて、本市でも取り組んでみたいと思いました。
- ・県に相談すれば一緒に事業を進めてくれると知り、活用してみたいと思いました。



◆講義②&演習「社会教育のマネジメントはこうありたい～LRDCマネジメントサイクルと「熟議」の活用～」

法規に定義された社会教育の解釈からスタートし、事務事業のつくり方、進め方についてお話いただきました。事業を進めるにあたって役立つ新たな手法「LRDC マネジメントサイクル」、また地域を巻き込みネットワークを張り巡らせることの重要性を学びました。

「熟議」とは…多くの当事者（関係する地域住民等）が集まって地域の課題について学習・熟慮し、討議することによって互いの立場や果たすべき役割への理解を深めること。熟議を重ねることで解決策が洗練され、個々人が納得して自分の役割を果たすようになっていくといわれています。今回は受講生4～6人のグループごとに「これからの山形をつくる人たち（子どもたち）に伝えたい『山形らしさ』ってなに？」をテーマに、活発な「熟議」を行いました。

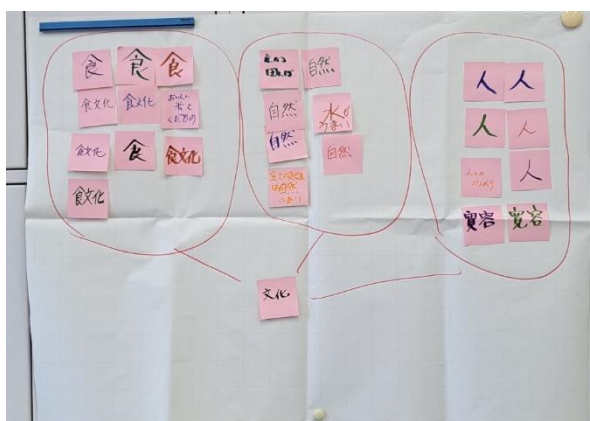
参加者 voices

- ・事業を行う上で、必ず押さえておくべき点を知ることができたことはありがたいです。とても楽しく勉強できました。
- ・大変な熱量をもった講義、ありがとうございました。今年採用になり、自分のスタンスがまだわからない中で、多くの参考になるキーワードをいただきました。まずは市民の方々の伴走者となるよう今後も学んで参ります。
- ・人とつながる、人と関わることの大切さの中で、法令のもとで私たちは業務を行っていることが、体感的に理解できたのではないかと思います。
- ・社会教育を推進するには熱意が不可欠なのだと感じました。4つの力や分析方法を意識して、どのような事業が効果的かよく考え、人を巻き込みながらアクションしていきたいです。
- ・「熟議」は始まる前は不安だったが、いざやってみるとアイディアは出てくるし、盛り上がるし、とても良い手法だと思った。



皆川雅仁先生

↓庄内 演習の様子 村山↓



↑庄内 最後に演習の成果をサブファシリテーターが見事にまとめました！ 村山↑